

## 花粉供給緊急対策事業について

支援対象者：水郷つくば農業協同組合

### 1. 目的

中国産花粉の輸入停止に伴い、令和6年度産ナシの生産に必要な花粉を自家採取等で確保することが必要となった。

生産者が機械を共同利用し、花粉を生産することを目的として、輸入花粉に頼らない体制を構築する。

### 2. 実施体制

図1のとおり実施した。部会長の自宅に開葯器を設置し、部会員は各自で花蕾採取と葯精選を行った。葯精選後、開葯器を共同利用し、各自で花粉採取を行った。共同利用にあたっては、開葯器の円滑かつ効率的な使用に資するよう、事前調整を行った。

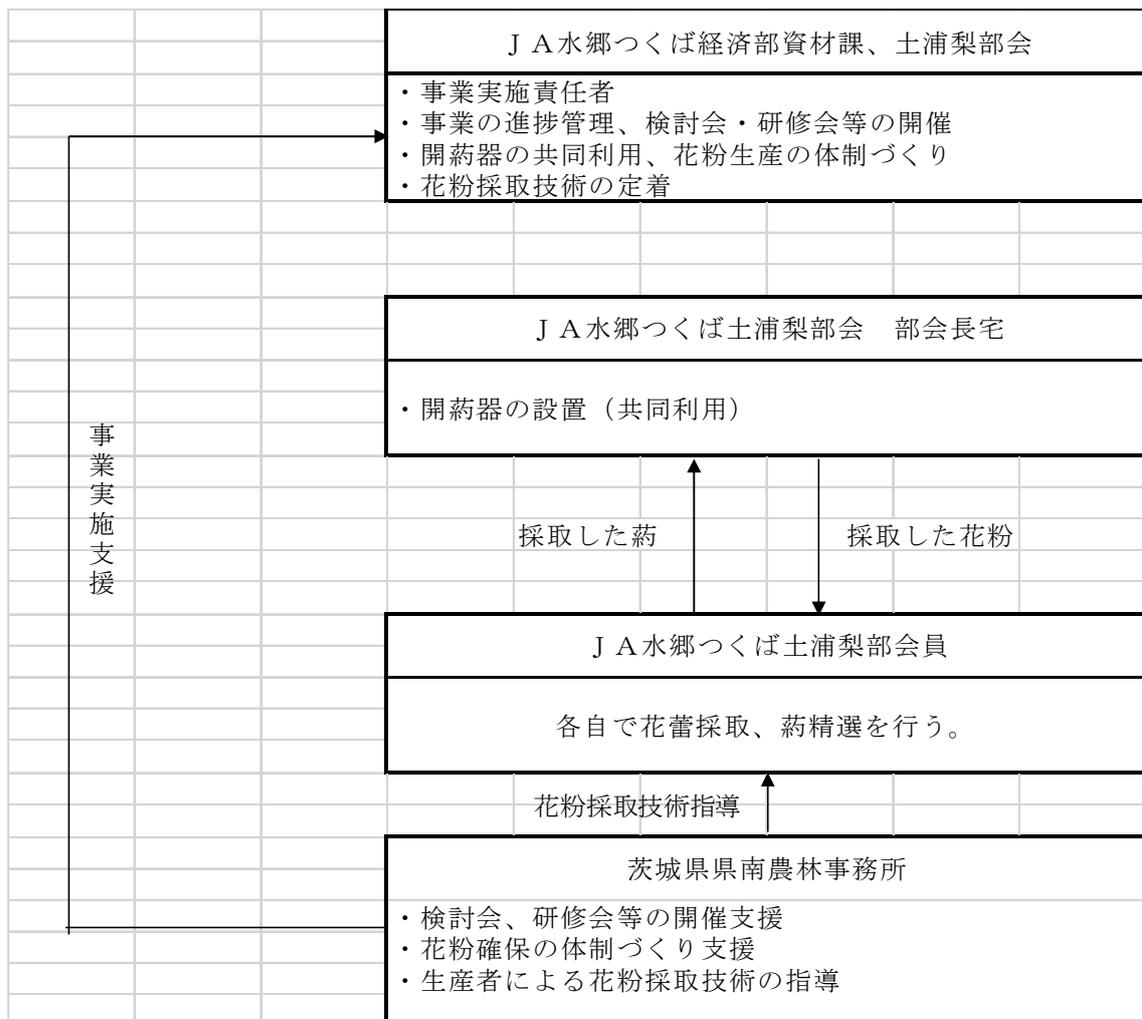


図1 事業実施体制図

### 3. 取組内容

JA 水郷つくば土浦梨部会は、市場出荷量 30 t（ほか直売あり）のナシ産地であり、必要花粉量の 2 割程度を中国産花粉に依存している。中国産花粉の輸入停止措置により令和 6 年産ナシの生産に必要な花粉量を確保することが困難となった（純花粉で 280g 不足見込み）。そのため、事業を活用して生産者が共同で花粉を生産することを目的として、輸入花粉に頼らない体制を構築する。

具体には、採花可能日数 3.8 日のうちに 44kg/日の花を採取し、計 167kg の花を部会で所持している採葯器等により葯採取、ふるいを活用した葯精選を行い、部会長宅に設置した開葯器を共同利用して 280g の純花粉を得る（天候不順を考慮した不足分の 1.5 倍量（県果樹栽培基準より））。共同利用にあたっては、機器使用予定表により使用が集中しないように調整する。なお、余剰花粉が生じた場合には、花粉が足りない生産者に無償で融通することとした。

### 4. 取組結果

4 月 8 日から 12 日に各部会員が採取した花蕾（「豊水」「松島」で計 167 kg）を採葯器で葯採取後、ふるいで葯精選し、部会員宅に設置した開葯器を用いて花粉の共同採取を行った（図 1）。

4 月上旬に推計花蕾量 90 kg から 244 g の純花粉（「豊水」174g、「松島」70g）を採取し、部会員 7 名に提供した（残り 5 名はミツバチによる自然交配）。採取した花粉の発芽率について調査したところ、発芽率は平均 78% であった（表 1）。採取した花粉を受粉した「幸水」、「豊水」の着果状況については、6 月に全戸（12 戸、5.3ha）巡回し、着果良好であることを確認した。



図1 機械の共同利用による花粉採取の様子

表1 花粉発芽率

氏名	開葯日	調査日	発芽率
A氏	4月10日	4月11日	78%
B氏	4月10日	4月11日	77%
C氏	4月11日	4月12日	78%

5. 成果及び今後の課題

土浦梨部会における機械の共同利用による花粉確保の体制を構築した。

純花粉で 280g (天候不順を考慮した必要量 185g の 1.5 倍) を得ることを目標としていたところ、産地全体で 244g の純花粉 (「豊水」174g、「松島」70g) を生産でき、必要量の 185g 以上を確保できた。発芽率にも問題はなく、着果は良好であった。

本年度は開花期の天候に恵まれ、着果は良好となったが、開花期の天候不順年にも十分対応できるよう、開花促進や品種等を検討する必要がある。